

職場における金融経済教育 の必要性について

2024年11月21日(木)

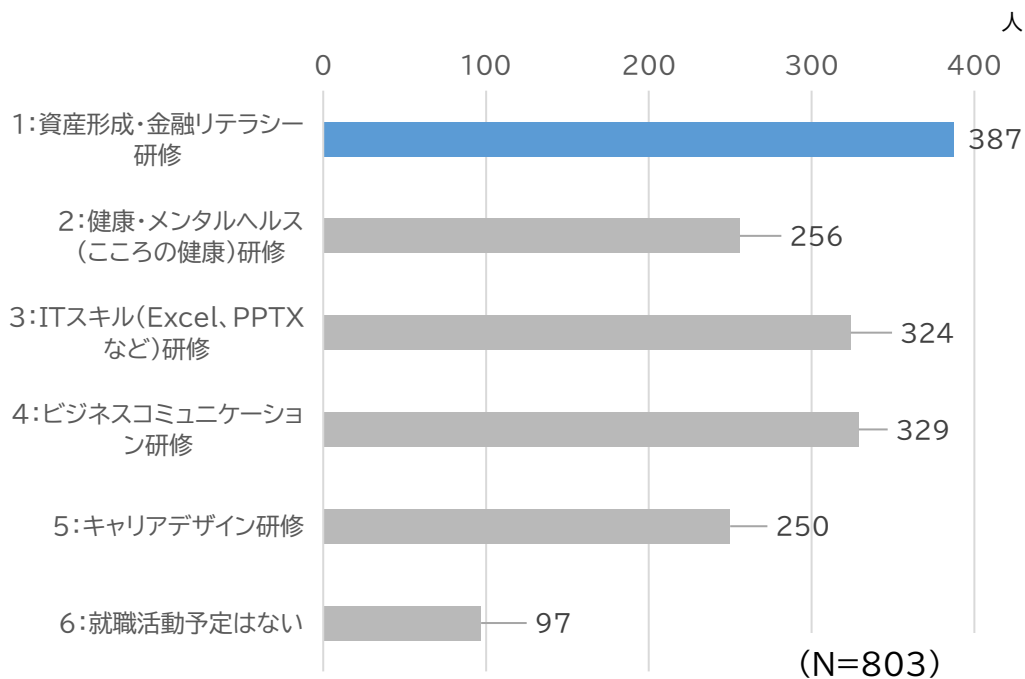
金融経済教育推進機構
理事 倉本 勝也

J-FLEC
金融経済教育推進機構

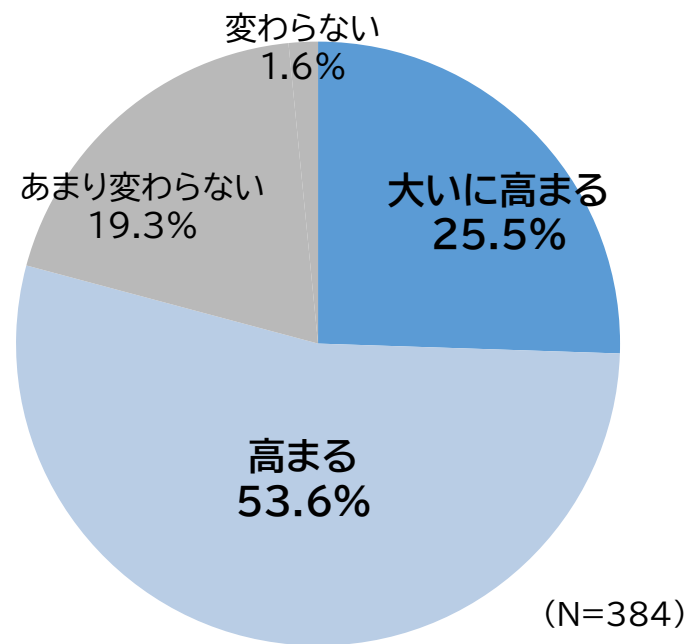


- Z世代と呼ばれる学生が企業や職場を選ぶ際に用意してくれたら良いと思う研修としては、「資産形成・金融リテラシー研修」への関心度が高い。

企業や職場を選ぶ際、用意してくれたら良いと思う研修は次のうち何ですか(複数回答可)



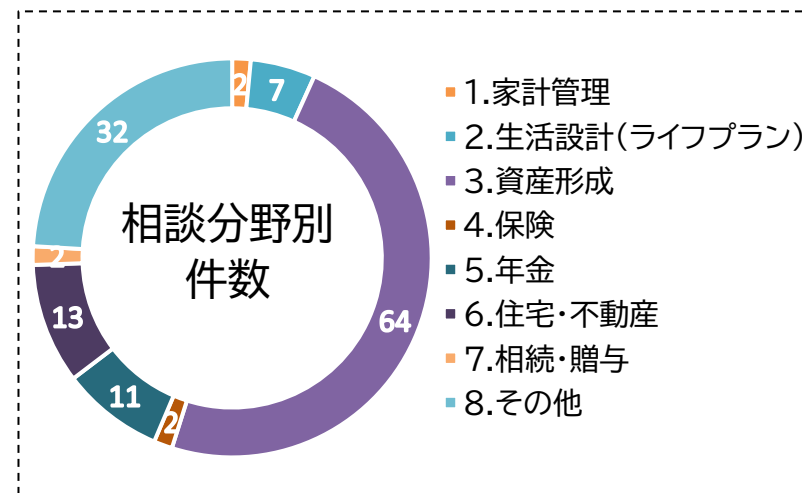
「資産形成や金融リテラシー研修」について、企業が、こうした研修を積極的に導入している場合、あなたの志望度合いはどの程度変わりますか



□ 2024年8月2日から、J-FLEC相談員による「J-FLECはじめてのマネープラン」電話相談を開始。

【概要】

- 報告対象期間:2024年8~9月
(8月2日~9月30日 39営業日)
- 相談件数:133件
- 相談者:40代・50代・60代以上が中心
- 相談分野:「資産形成」が最も多い(48.1%)



【相談内容の例】

- ・出産や子の進学により、家計にどのような影響があるか。
- ・老後の医療費や介護資金としていくら用意しておけばよいのか。
- ・投資のリスクが怖いけど、どう考えるべきか。保有資産の何割程度を運用に回せばよいのか。
- ・相場が大きく変動しているけど、保有している資産(投資信託等)を売却すべきか。 ※ 8月初旬の相談
- ・金融機関から金融商品(外貨建終身保険、仕組債等)の購入を勧められたけど、購入した方がいいのか。
- ・年金の繰り下げ受給(繰り上げ受給)をしても問題ないか。
- ・住宅ローンは変動金利と固定金利どちらを選択すればよいのか。繰り上げ返済すべきか。
- ・子に毎年贈与をする場合の留意点は何か。

- J-FLECでは公式X(旧Twitter)にて、適時情報発信を実施。



金融経済教育推進機構 (J-FLEC)

@J_FLEC



相場が大きく変動すると一喜一憂される方もいると思いますが、安定的な資産形成のためには、積立・分散投資を長期間継続することが重要です。

国民の皆さんのより良い生活を支援するため、J-FLECは、家計管理や生活設計、資産形成など、幅広いテーマの金融経済教育を推進してまいります。

午後8:09 · 2024年8月5日 · **4.5万** 件の表示

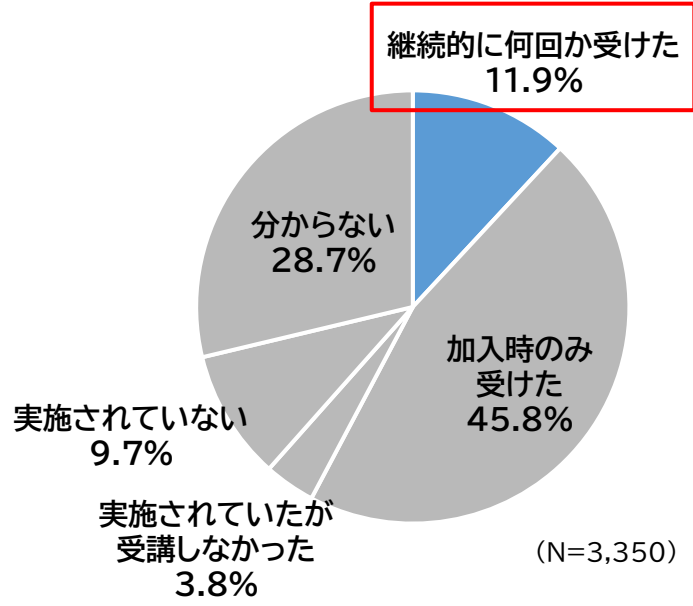
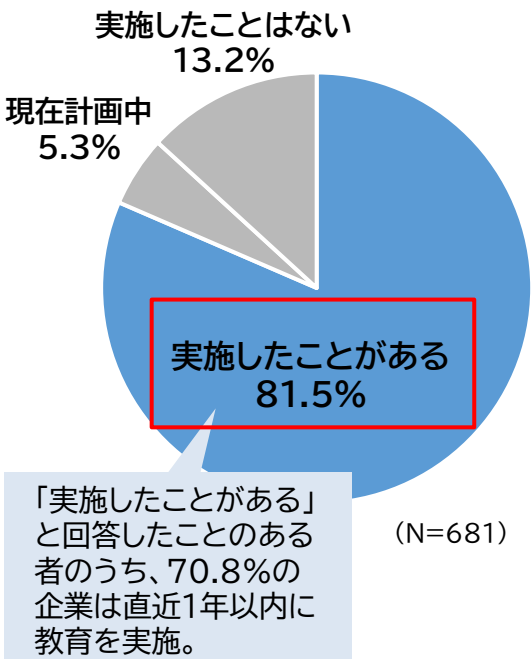


- 確定拠出年金法では、企業型確定拠出年金(企業型DC)を実施する事業主に対して、加入者等の運用の指図に資するよう、加入者等に継続投資教育を行うことを努力義務として課している。
- しかしながら、継続投資教育の実施状況において、**企業と従業員の認識には乖離**が見られる。
- 企業型DCを実施する企業の6割は、**継続教育に関する悩み**を抱えている。

企業型DCの継続投資教育の実施状況
(企業型DCの**事業主**を対象とする調査)

企業型DCの投資教育の実施状況
(企業型DCの**加入者**を対象とする調査)

企業担当者のDC制度に関する悩み (N=1,618)



継続教育に関する事項	割合
継続教育に関する事項	59.0%
加入者の理解不足	48.3%
加入者の無関心	48.0%
法改正への対応	41.4%
事務の煩雑さ	28.9%

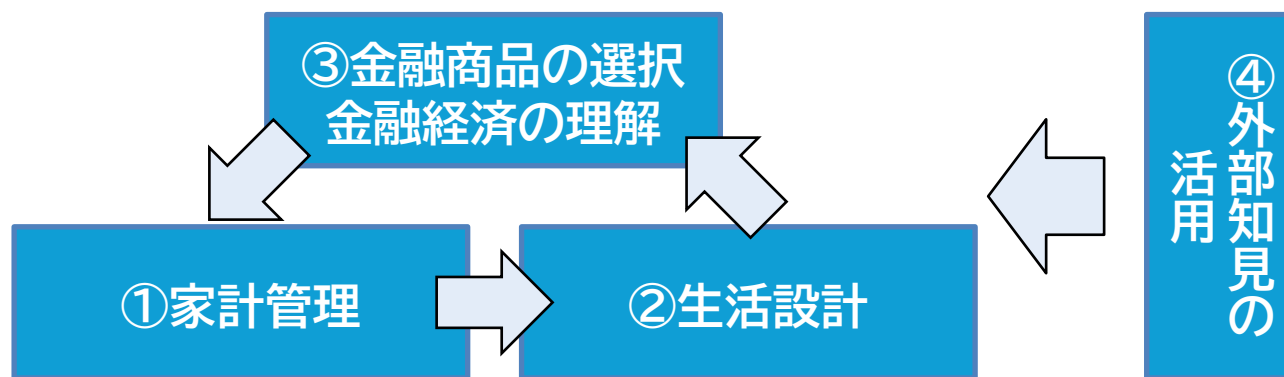
継続教育を実施する際の課題・悩み (N=1,313)

無関心層に対する効果的な方法が分からない	45.4%
他の業務と兼務しているため、継続教育に割く時間が少ない	35.3%
社員間の理解等のばらつきを少なくする効果的な方法が分からない	32.1%
継続教育自体をどのような内容・方法で実施するか	29.6%
継続教育に対する社員の反応、参加率の少なさ	26.4%

(出典)企業年金連合会「2021(令和3)年度 確定拠出年金実態調査結果(概要)(2023年3月公表)」、年金シニアプラン総合研究機構「厚生年金の加入者における企業型確定拠出年金とiDeCoに関する調査(2021年5月調査)(2022年2月公表)」、確定拠出年金教育協会「企業型確定拠出年金(DC)担当者の意識調査2022全体報告書(2023年1月公表)」、確定拠出年金・調査広報研究所「第19回企業型確定拠出年金制度に関する調査(2022年8月公表)」より金融庁作成

- 国民一人ひとりが、経済的に自立し、安心かつ豊かな生活を送るためには、家計管理や生活設計といった基本的な金融知識に加え、それぞれのライフプランに合った金融商品・サービスをより適切に選択し、安定的な資産形成を行う必要性を理解するなど、**金融リテラシー(注)**を向上させていくことが重要。

(注)金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な「お金に関する知識や判断力」のこと。



- 金融経済教育を通じて金融リテラシー(お金に関する知識や判断力)を高めることは、一人ひとりが描く**ファイナンシャル・ウェルビーイング(注)**の向上に繋がる。

(注)自らの経済状況を管理し、必要な選択をすることによって、現在及び将来にわたって、経済的な観点から一人ひとりが多様な幸せを実現し、安心感を得られている状態。



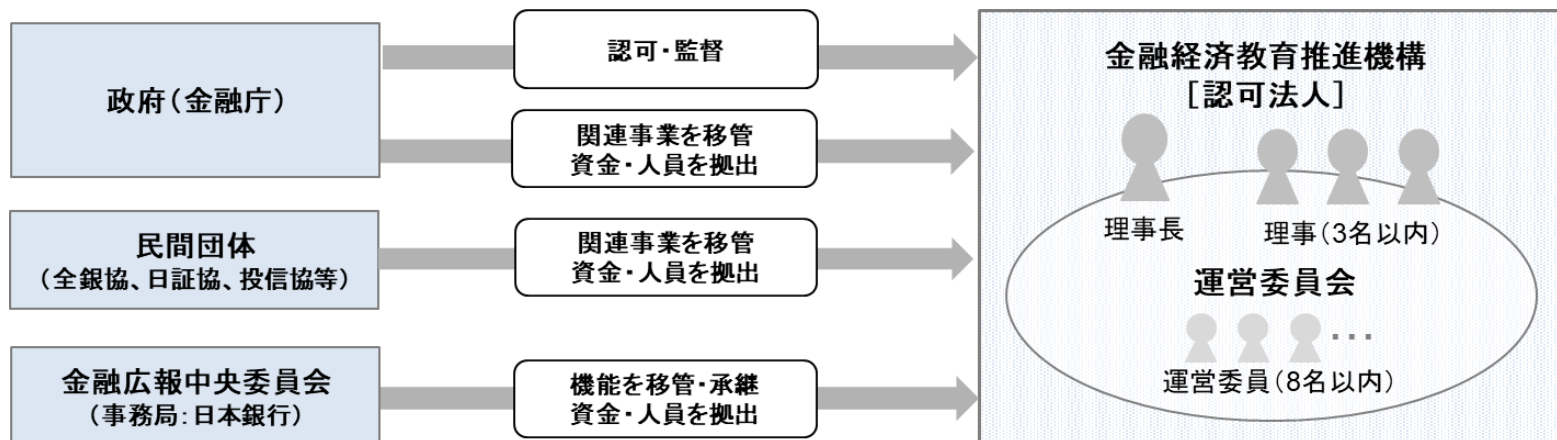
- これまで、政府、金融広報中央委員会、金融関係団体は、学校や職場等において、金融経済教育を実施。
- 但し、課題も存在。
 - 金融経済教育を受けたと認識している人は約7%。
 - 投資詐欺などの被害事案も引き続き散見。
 - 教育の担い手が金融機関・業界団体である場合、受け手(特に、個別企業)から敬遠。



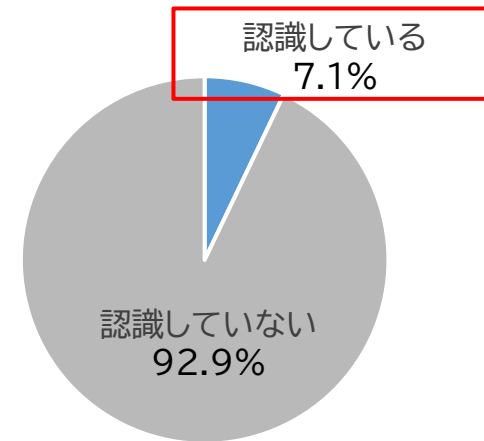
中立公正な教育を、官民一体で国全体に推進する必要。



金融経済教育推進機構(J-FLEC)の設立 (2024年4月5日)



金融経済教育を受けたと認識



(出所)金融広報中央委員会「金融リテラシー調査 (2022年)」より。

ステップ 講師派遣(出張授業)、イベント・セミナー

J-FLEC

1

金融経済教育の機会を提供し、ライフプラン・家計管理・資産形成などの重要性について理解していただく。

ステップ 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験

J-FLEC

2

1時間の無料相談体験を通じて、自分自身が取べき具体的な行動を知っていただく。また、お金に関するアドバイスの価値や意義を認識していただく。

ステップ 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン

J-FLEC
認定アドバイザー

3

相談料の割引クーポンを配布することによって、実際にお金に関するアドバイスを受けるきっかけとしていただく。そして、自分自身が取べき具体的な行動についての理解を深めていただく。

個人の金融意識・
金融行動の変容

一人ひとりが描くファイナンシャル・
ウェルビーイングの実現

- 2024年8月1日(木)
 - ✓ J-FLECホームページをリニューアル。
- 8月2日(金)
 - ✓ 「J-FLECはじめてのマネープラン」電話相談を開始。
- 8月14日(水)
 - ✓ 講師派遣(出張授業)で使用する「標準講義資料」をJ-FLECホームページにて一般公開。
あわせて利用に際しての留意事項についても公開。
 - ✓ J-FLECに事業移管した業界団体の教材も一般公開。
- 8月26日(月)
 - ✓ 新CMおよび「お金の知識力無料診断」を公開。
 - ✓ 講師派遣(出張授業)の申込受付を開始。
 - ✓ J-FLEC認定アドバイザーの認定申請の受付開始。
- 10月21日(月)
 - ✓ 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験の申込受付開始。
- 10月23日(水)
 - ✓ J-FLEC認定アドバイザーのリスト・プロフィールを公表。
- 今秋より「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポンの配布を開始予定。

※ イベント・セミナーについては順次実施中。

※ J-FLEC公式Youtube、公式X(旧Twitter)も開設済み。

[J-FLECホームページ](#)

[講師派遣で使用する教材の公開について](#)
[金融を学べる教材一覧](#)

[お金の知識力無料診断](#)
[講師派遣\(出張授業\)](#)
[J-FLEC認定アドバイザー](#)

[J-FLECはじめてのマネープラン](#)

[J-FLEC認定アドバイザー](#)

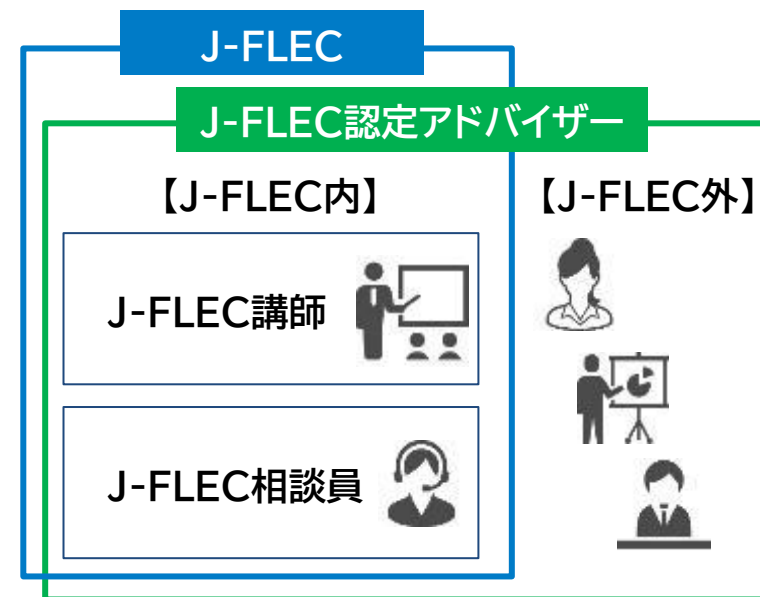
[J-FLEC公式Youtube](#)

[J-FLEC公式X\(旧Twitter\)](#)

□ J-FLEC認定アドバイザーとは

J-FLECでは、J-FLECが定める認定要件に合致し所定の審査を通過した個人を、一定の中立性を有する顧客の立場に立ったアドバイザー(「J-FLEC認定アドバイザー」)として認定・公表します。

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、(i)金融商品の組成・販売等を行う金融機関を兼業していない、(ii)上記金融機関から、顧客に対するアドバイスの信頼性等に影響を及ぼしうる報酬を得ていない、といった要件を満たす必要。
- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、家計管理、生活設計、NISA・iDeCo等の資産形成支援制度、金融商品・サービス、消費生活相談等についてアドバイスを行う者を想定。
- ◆ J-FLECは、**J-FLEC認定アドバイザーの氏名のほか、個人がアドバイスを依頼する際に参考となる情報(保有資格、経歴、得意分野、報酬の目安、自己PR、実際にアドバイスを受けた個人からの評価等)を公表。**



□ J-FLEC講師・相談員

所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザーは、**J-FLECが行う講師派遣(出張授業)の講師、無料相談の相談員業務を行うことが可能**です。

□ 2024年10月21日(月)時点で、合計637名のJ-FLEC認定アドバイザーを認定済。

□ 8月26日(月)より、新規の認定申請の受付を開始し、所定の審査のうえ、順次認定。

※ これまで、既存講師(金融広報アドバイザー、金融・証券インストラクター、金融インストラクター、投資信託協会講師)、J-FLEC相談員として日本FP協会からの推薦を受けた者について、先行して認定審査を実施。

□ 10月23日(水)より、J-FLECのウェブサイト上において、上記のJ-FLEC認定アドバイザーのリスト及びプロフィールを公開。

【J-FLEC認定アドバイザー(637名)の属性】(2024年10月21日時点)

(年代)

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
2名 (0.3%)	22名 (3.5%)	84名 (13.2%)	189名 (29.7%)	290名 (45.5%)	50名 (7.8%)

(保有資格) ※複数の資格を保有している場合は、左側のものから優先してカウント。

CFP	AFP	FP技能検定 (2級以上)	消費生活 相談員等	外務員 (1種)	士業(注)	証券 アナリスト	銀行業務 検定
293名 (46.0%)	122名 (19.2%)	110名 (17.3%)	40名 (6.3%)	31名 (4.9%)	30名 (4.7%)	9名 (1.4%)	2名 (0.3%)

82.4%

(注)税理士、司法書士、社会保険労務士など

- 2024年8月26日、J-FLEC講師による金融経済に関する出張授業(無料)の受付を開始。講師・教材の準備期間確保のため、出張授業の申込みは実施希望日の45日前までに行っていただくこととしている。
- 「金融リテラシー・マップ」に沿って、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシー(お金に関する知識・判断力)を習得いただけるような出張授業を実施。

年齢層	学べる主な内容(例)
小学生	「おこづかいから学ぶお金の話」 ・おこづかいの使い方、貯め方、お金の流れ・トラブルの事例など ※ ドリル・ゲーム・クイズなども活用した参加型形式もあり
中学生・高校生	「大人になる前に知っておきたいお金の話」 ・収支管理の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジット・奨学金の仕組みと注意点、金融トラブルの防止など
大学生・若手社会人 (10代~20代)	「社会人として知っておきたいお金の話」 ・家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止など
中堅社会人 (30代~40代)	「将来に向けて知っておきたいお金の話」 ・家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止など
ベテラン社会人 (50代以上)	「リタイア前後に知っておきたいお金の話」 ・定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、贈与・相続・終活などの概要

※ 特別支援学校向け、教員向けにも研修・授業を実施。

※ 講義資料は、J-FLEC以外の教育活動を行っている方々にも参考としていただくため、J-FLECホームページにて8月に公開済。

- 全国各地で、社会人の方や事業会社(経営者の方)、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催します。
- 忙しくて時間がない方、遠隔地にお住まいの方にもご参加いただけるよう、イベント・セミナー会場だけでなく、オンラインによる参加やオンデマンド動画による視聴も可能とする予定です。

【イベント・セミナー例】

対象層	主な内容等
社会人	「社会人として身に付けておきたいお金の話」 ・収支管理・資産形成の基本や利用できる制度(NISA等)、社会保険と民間保険など
事業会社 (経営者)	「職域における金融経済教育のメリット」 ・人材確保の観点からの金融経済教育の重要性、企業における取組み事例の紹介など
教員向け	「基礎から知りたいお金の話」 ・先生自身に知っていただきたい、家計管理・資産形成などの基本とポイント 「生徒に伝えたいお金の話」 ・授業でお金について教える際のポイント、授業で使えるJ-FLEC教材の体験など
親子向け	「お金の使い方・貯め方体験プログラム」 「会社の仕組みやお金の流れを学習できるワークショップ」



<主に一般の方々へ>

<主に消費者教育に携わるの方々へ>

～将来を見据えたおかねのキホン～

NISAとiDeCoで始める 資産形成セミナー

2024 **9.25** WED
18:30 ~ 20:00

NISA iDeCo

オンライン開催 参加無料
YouTube LIVE 配信

*事前申込制 (定員はありません)

本年4月、金融経済教育推進機構 (J-FLEC) が設立され、これまで以上に金融経済教育が注目を集めています。お金に関する様々な知識を正しく身に付け、経済的に自立することは、ウェルビーイングな人生を送るために非常に重要とされています。今、話題のNISAやiDeCoについてもしっかり学んで、お金や資産形成について、一緒に考えてみませんか？

プログラム ※開始予定時刻の5分前より参加可能です。※本プログラムは予告なしに変更となる場合がございます。

1 政府高官メッセージ	2 金融リテラシーの基礎 J-FLEC認定アドバイザー 岡田 由美子
3 NISA 制度とその活用方法 金融庁 金融経済教育推進室 野村 泰康	4 iDeCo 制度とその活用方法 厚生労働省 年金局 企業年金・個人年金課 末永 理紗
5 Q&A コーナー 申込フォームでいただいた事前質問に講師がお答えします！	

《申込方法》

下記 URL もしくは QR コードから申込フォームに記入・送信ください。
<https://form.dr-seminar.jp/lps/evkstg/kinyuseminar>

申込完了後、YouTube LIVE の視聴 URL がメールで届きます。

運営委託会社：東京セミナースタジオ株式会社 info@tokyo-seminar-studio.com 担当：卜部 (966)、大谷

昭和女子大学 専門職大学院 公開シンポジウム (共催 金融経済教育推進機構)

消費者本位の金融経済教育 —J-FLEC認定アドバイザーが果たすべき役割—

金融経済教育推進機構 (J-FLEC) の設立を契機として、消費者の金融経済教育の必要性への関心があらためて高まるなか、J-FLEC認定アドバイザーによるアドバイスの実施業務及びその果たすべき役割を、特に消費者の立場から検討する。

日 時 ⇒ 2024年9月18日 (水) 18:30~20:45

開催方法 ⇒ ハイフレックス形式 (参加費無料)

会 場 ⇒ オンライン：Zoomウェビナー
 対面：昭和女子大学 学園本部館3階 中会議室
 東京都世田谷区太子堂1丁目7-57
 (東急田園都市線 (半蔵門線直通) 三軒茶屋駅下車 徒歩7分)

申込方法 ⇒ 申込フォームまたはQRコードよりお申し込みください
<https://forms.gle/QVQT658ttrLmATBN7>

プログラム

- ◆オープニング・リマーク
坂東 眞理子 昭和女子大学総長
- ◆シンポジウム趣旨説明
太田 行信 昭和女子大学特命教授
- ◆講演 「J-FLEC設立の狙いとその戦略」
安藤 聡 J-FLEC (金融経済教育推進機構) 理事長
- ◆講演 「消費者教育と金融経済教育の連携の新局面」
柿野 成美 法政大学大学院准教授
- ◆報告 「損害保険に関する消費者金融リテラシーの現状と課題」
遠藤 美紀子 東京海上日動火災保険株式会社 熊谷支社 シニアアソシエイト/
マスター消費生活アドバイザー (昭和女子大学専門職大学院 修了生)
- ◆パネルディスカッション
「消費者本位の金融経済教育の目指すところとJ-FLEC認定アドバイザーが果たすべき役割」
永沢 裕美子 良質な金融商品を育てる会 (フォスター・フォーラム) 世話人/
NACS (日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会) 理事
安藤理事長、柿野准教授、加納 克利 昭和女子大学教授
- ◆質疑応答
- ◆総括コメント
飛田 史和 昭和女子大学 特任教授

【お問い合わせ先】
 昭和女子大学大学院 福祉社会・経営研究科 福祉共創マネジメント専攻
 Mail : exam-senfuku@swu.ac.jp

<主に経営層や人事・福利厚生担当の方々へ>

<主に子どもとその保護者、教員の方々へ>

J-FLEC × SMBCグループ 共催 イベント

定員 150 名様

参加 無料

9.26 Thu

第1部 18:00～
第2部 18:40～

大手町
サンケイプラザ
4Fホール

ファイナンシャル ウェルビーイングと 金融経済教育

18:00～ [第1部] パネルディスカッション

THEME

1. 日本人の金融リテラシーの現在地
2. 企業にとっての従業員の金融リテラシー向上の意義
3. 金融リテラシーの向上に向けた取組

SPEAKER

金融経済教育推進機構(J-FLEC) 理事長 安藤 聡

三井住友フィナンシャルグループ取締役 執行役員専務 伊藤 文彦

ファシリテーター
フリーアナウンサー 宇賀 なつみ

18:40～ [第2部] 企業トークセッション

THEME

人的資本経営におけるファイナンシャルウェルビーイングの位置づけと具体的な取組

SPEAKER

NEC企業年金基金常務理事 兼 NEC人材総局開発総括 兼 シニア年金プロフェッショナル / 本間 智克 氏

株式会社パソナグループ 常務執行役員 HR本部長 / 金澤 真理 氏

早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール教授 / 入山 章榮 氏

日時 2024年9月26日(木) 18:00～19:30 ※17:30 開場・受付開始

場所 大手町サンケイプラザ 4Fホール

対象 企業の人事部門、金融経済教育・人的資本経営に興味がある方など

お申し込みはコチラ

お申し込み方法 ▶ 下記URLもしくはQRコードから申込フォームに記入・送信ください。

https://www.smfg.co.jp/sustainability/whatsnew/2024/2024_09_26.html

共催 J-FLEC SMBC

J-FLEC NOMURA

参加 無料

次世代を担う子どもたちのための
金融経済教育イベント

ゲーム形式の授業も!

小中学生 & 保護者向け
親子で学ぶ お金のコト

日本橋・兜町で、次世代を担う子どもたちのウェルビーイング実現のために、金融・経済の知識・経験を伝え、活かす方法を一緒に考えるイベント「親子で学ぶお金のコト」を開催します。ぜひ、親子で

開催日時 2024年10月20日 12:30～16:00

■プログラム ※詳細は裏面をご確認ください

12:30 - 16:00 体験型イベント
親子でお金の体験授業

12:30 - 13:30 イベントセミナー
親子で、学校で学ぶお金のコト

13:40 - 14:40 同時開催: 教員向けセミナー
「よく生きる」を実現する金融経済教育

開催場所 KABUTO ONE HALL & CONFERENCE

東京都中央区日本橋兜町7-1 KABUTO ONE 4階

- 東京メトロ東西線「茅場町」駅直結
- 東京メトロ銀座線・東西線・都営浅草線「日本橋」駅D2出口徒歩2分

主催 J-FLEC NOMURA

協力 docomo Benesse

J-FLEC NOMURA

参加 無料

次世代を担う子どもたちのための
金融経済教育イベント

授業体験も!

教員のみなさま向け
学校で学ぶ お金のコト

日本橋・兜町で、次世代を担う子どもたちのウェルビーイング実現のために、金融・経済の知識・経験を伝え、活かす方法を一緒に考えるイベント「学校で学ぶお金のコト」を会場・オンラインで開催します。ぜひ、ご参加ください

開催日時 2024年10月20日 日曜日 12:30～16:00 ※12:00～開場 および受付開始

■プログラム ※詳細は裏面をご確認ください

12:30 - 13:30 イベントセミナー
親子で、学校で学ぶお金のコト

13:40 - 14:40 教員向けセミナー
「よく生きる」を実現する金融経済教育

12:30 - 16:00 教員・保護者用体験授業も
親子でお金の体験授業

開催場所 KABUTO ONE HALL & CONFERENCE

東京都中央区日本橋兜町7-1 KABUTO ONE 4階

- 東京メトロ東西線「茅場町」駅直結
- 東京メトロ銀座線・東西線・都営浅草線「日本橋」駅D2出口徒歩2分

主催 J-FLEC NOMURA

協力 docomo Benesse

後援 JSDA 日本証券業協会

参加お申込み

下記二次元コードイベントページからお申し込みください

<主に富山県在住の一般の方々へ>

<主に大阪府の人事・福利厚生担当の方々へ>

 ×  北陸銀行
共催セミナー

北陸初！ J-FLEC共催セミナー

将来に向けて

参加
無料

定員
40名

知っておきたいお金の話

2024年
10月26日 ±
10:30～12:00

J-FLEC
(ジェイフレック) って？

金融経済教育を推進するため、
法律に基づいて2024年に設立された
中立・公正な認可法人です。

家計の現状把握から
外部知見の活用を通じた
将来設計・資産形成の考え方、
資産寿命の延伸、相続・贈与について

商品・サービスの
セールスは一切ありません

講師 J-FLEC認定アドバイザー
丹羽 誠氏

・会場の都合により人数の制限がございます。
参加ご希望の方は事前にお申し込みをお願いいたします。
・講師等の都合によりセミナー内容が変更になる場合がございます。

会場 ほくぎんプラザ一番町
3階 多目的室

住所：富山県一歩町1番1号(一番町スクエアビル)
※北陸銀行越前町支店が1Fにございます。
TEL：076-423-7710
※当日のご連絡は会場までお願いいたします。
※ほくぎんプラザ一番町は午前10時より営業しています。
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



お申し込み方法・お問い合わせは、裏面をご確認ください。

 ×  大阪府 ×  大阪市
3者共催

企業の経営者、人事・福利厚生担当者対象！

職場における金融リテラシー教育セミナー

企業に求められる
ファイナンシャル・ウェルネス

2024.11.21

THU
17:00 - 18:30

大阪府 大阪市北区芝田1丁目1番3号「阪急阪神MEETS」内
NORIBA10 umeda



「阪急大阪梅田駅」
2階中央改札口を出てすぐ

<セミナー主旨>

- － 職域教育の重要性、ファイナンシャル・ウェルネスの意義を一から学べます。
- － また、職場での金融リテラシー教育の取組みの一つとして、従業員向けのデモ講座も行い、金融リテラシーの基礎、NISA・iDeCoなどの資産形成支援制度なども紹介します。
- － 職場での取組み、個人の資産形成を考える機会として、ご活用ください。

<プログラム>

- (1) 開会挨拶
大阪府 政策企画部 成長戦略局 国際金融都市推進監 阪本 哲也
- (2) 講演「企業に求められる従業員の金融リテラシー教育」
金融経済教育推進機構(J-FLEC) 理事 倉本 勝也
- (3) 従業員向け デモ講座
J-FLEC認定アドバイザー 荒木 千秋
- (4) 質疑応答
- (5) ネットワーキング(名刺交換)

お申し込み
はこちら



<備考>

- － 参加費無料
- － 11月20日(水)まで受付中

<お問い合わせ先> 大阪府 政策企画部 成長戦略局 国際金融都市グループ
メールアドレス: globalfinancialcity@gbox.pref.osaka.lg.jp

□ 2024年10月21日から、個別相談(対面・オンライン)の予約受付(11月以降実施分)を開始。

【個別相談(対面・オンライン)】

実施方法	対面またはオンライン (Zoom)
相談場所	対面:J-FLEC事務所 東京都中央区日本橋室町2-3-1室町古河三井ビルディング9F(コレド室町2)

注意事項

- ・無料体験は最大1時間で、事前予約制です。予約は1ヶ月前から7日前まで受け付けます。
- ・オンライン面談のための通信料やJ-FLEC事務所への交通費などは利用者のご負担となります。
- ・多くの方に体験していただくため、お申し込みはおひとり様一回限りとさせていただきます。
- ・本無料体験でご提供する情報等は、担当するJ-FLEC認定アドバイザー個人の意見を基にしており、J-FLECとしての見解を示すものではありません。また、個別の金融商品・サービスについて提案・推奨することはできません。
- ・台風や地震等の自然災害、担当相談員の急病、その他やむを得ない事由により、中止になる場合があります。

【電話相談】

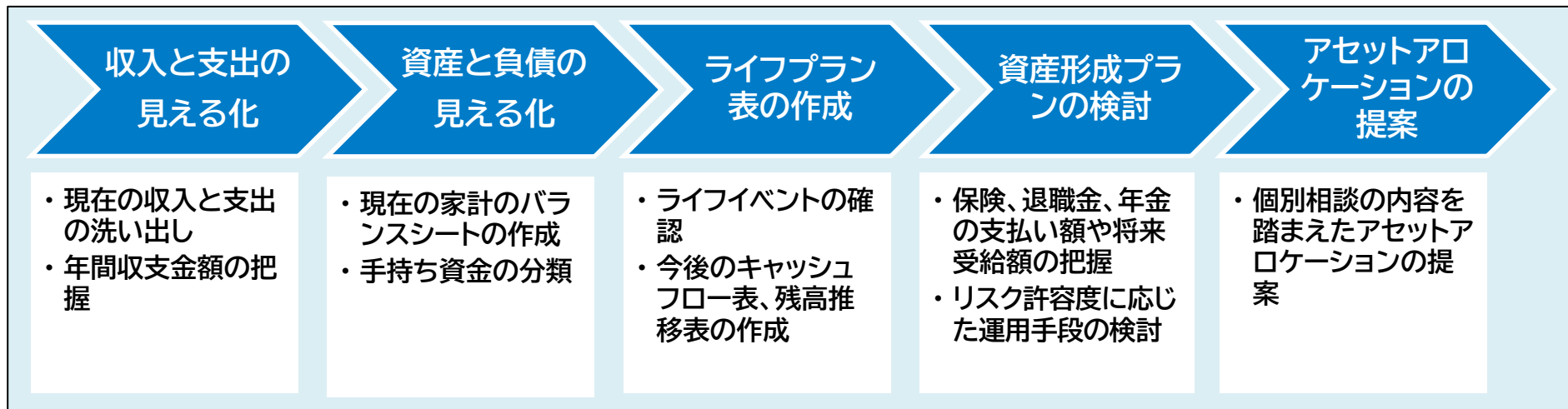
電話相談室	月～金 (年末年始、祝日を除く)
東京	10:00～17:00

※ 原則2名体制

今秋受付開始予定

- お金に関するアドバイスの価値や意義を知っていただくきっかけとするため、J-FLEC認定アドバイザーによる有料の個別相談を**はじめて利用する方を対象として、相談料が80%オフ(最大8,000円まで割引)になる電子クーポン(3時間分)を配布**します。
 - ◆ 相談料が1時間10,000円の場合、電子クーポンの利用で自己負担が2,000円になります。
 - ◆ **3時間でライフプランの作成からアセットアロケーション(金融資産の種類・配分調整)の提案までの個別相談が可能**です。
 - ◆ 電子クーポンの利用対象となる個別相談は、J-FLECが行うアドバイス実践研修を通じて、一定のアドバイス技能を身に付けたJ-FLEC認定アドバイザーが行うものに限定されています。
 - ◆ **今秋からクーポンの取得申請を受け付け、まずは3,000名分を配布**します。状況を見つつ、追加配布することも予定しています。

【3時間分の個別相談の内容(例)】



- 各地域や都道府県の特徴を踏まえた効果的な教育を推進しつつも、全国各地における金融経済教育の抜本的な拡充を目指し、関係団体との連携を強化していきます。

<関係団体>

- ◆ 47都道府県に設置されている金融広報委員会(事務局:日銀支店又は県庁)
- ◆ 各地銀行協会(49か所)
- ◆ 日本証券業協会地区協会(8か所)
- ◆ 財務(支)局(10か所)、沖縄総合事務局、財務事務所(40か所)
など

ブロック協議会



地域ごとの活動全体を底上げ

J-FLEC認定アドバイザー等研修会



教育の担い手のスキル向上

- 関係団体は、上記協議会や研修会の枠組みにとどまらず、官民一体となって各地域の経済団体や教育機関等にもJ-FLECの広報活動を実施します。

- ◆ 中立公正な組織として、偏りのない金融経済教育を推進
 - 家計管理・生活設計・資産形成・金融トラブル防止など広く教育

- ◆ 金融機関を兼業していないJ-FLEC認定アドバイザーなど、中立公正なJ-FLEC講師が教育の担い手
 - 営業を受けることが苦手な方も、安心して学べる環境

- ◆ 企業にも、学校にも、地域の公民館にも、広く展開
 - 誰一人取り残さない学びの場を提供

- J-FLECウェブサイトでは講師派遣の申し込みを受け付け中。タイトルや内容は、企業の個別ニーズに応じてご相談して決定します。

タイトル案	主な対象世代	主な内容※
<ul style="list-style-type: none"> ● セカンドライフへの備え、一緒に考えましょう (ライフプランの必要性和資産運用～) 	50代	<ul style="list-style-type: none"> ✓ セカンドライフの支出と収入、資産形成 (NISA・iDeCo など)・資産寿命の延伸 (取崩しをしながら運用)、セカンドライフの税金、公的保険、贈与・相続、金融トラブル
<ul style="list-style-type: none"> ● リスクを知って、資産形成！今さら聞けない、お金の知識とリスク対策 ● インフレに負けない家計づくり～マネープランの必要性和新NISAの活用方法～ 	30～40代	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフプラン、マネープラン、金利・物価、家計管理 (ローン、クレジット)、金融トラブル、資産形成 (NISA、DC・iDeCo)
<ul style="list-style-type: none"> ● 今から取り組めば将来勝ち組?? (ライフプランとマネープラン) ● 学校では教わらなかったお金の話 (社会に出てからすぐに役立つ資産運用の“イロハ”) 	20～30代	<ul style="list-style-type: none"> ✓ マネープラン、ライフプラン、家計管理、長期・積立・分散、NISA (ポイント投資)・iDeCo、生・損保、ローン (奨学金)・クレジット、金融トラブル
<ul style="list-style-type: none"> ● 人生いろいろ、お金の備えもいろいろ 	全世代	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフプラン、マネープラン、家計管理、資産形成 (NISA、iDeCo など)、公的保険・民間保険、金融トラブル
<ul style="list-style-type: none"> ● 金融リテラシー向上でお金に関する不安解消！ (特に自営業、フリーランスの方に向けて) 	全世代	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフプラン、マネープラン、国民年金 (国民年金基金)、NISA・iDeCo、生・損保、ローン (奨学金)、クレジット、金融トラブル
<ul style="list-style-type: none"> ● 選ばれる職場になるためには (従業員の福利厚生としての資産形成支援策について) 	経営層、人事担当者向け	<ul style="list-style-type: none"> ✓ NISA、企業型DC、iDeCo+、iDeCo、従業員持株会 (奨励金) など。主に中堅・中小企業向けに従業員に対する福利厚生面での支援策

出張授業をご希望の方は、こちらの申込ページまで

The image shows a screenshot of the J-FLEC website. At the top left is the J-FLEC logo. The navigation menu includes: J-FLECについて, 一般の方へ, 教育関係の方へ, 事業者の方へ, J-FLEC認定アドバイザー, and 発表・広報. The main banner features the J-FLEC logo and the text: "お金の知識をあなたの力に。" (Use your financial knowledge). A circular graphic contains the text: "たった5問であなたの知識をチェック!" (Check your knowledge in just 5 questions!), "お金の知識力" (Financial knowledge), and "無料診断" (Free diagnosis). A "今すぐこちら▶" (Click here now) button is at the bottom of the graphic. A woman in a white shirt is holding a pen and pointing at the text "チェック!" (Check!). To the right of the banner is a large QR code. Below the QR code is the URL: <https://www.j-flec.go.jp/>